

8月8日、9日に神戸国際展示場でSSH生徒研究発表会が行われた。本校代表として地学ゼミ『出る杭は打て、垂直に打つ杭は役に立つ』が発表を行った。

### 8月8日【開催一日目】

**基調講演** 東京理科大学 特任副学長 秋山 仁  
You can be a scientist from today  
～野に咲く可憐な花々に魅せられて～

**ポスター発表①** 本校代表地学ゼミの発表には、昨年壱高祭の記念講演の講師で本校SSH運営指導委員の東京工業大学名誉教授 本川 達雄 先生をはじめ審査員の先生方、そして、数百名の高校生が訪れた。一高の発表ブースは終始人だかりがで、丁寧な説明を食い入るように聞き感心したようすの人が多かったのが印象的だった。4名の発表者は2日間でのべ5時間、自分達の研究成果を理解してもらおうとする姿に心打たれた。声も枯れるほどの熱い戦いは、阪神甲子園球場だけではなかった。



**海外招聘校の歓迎レセプション**  
生徒研究発表会に参加する海外の国地域を歓迎するレセプションのホスト校に選出された本校代表4名は、フィリピンの高校生らと交流した。スーベニアとして仙台から持参した「むすび丸」の缶バッジと強歩大会の手拭、駄菓子はとても喜ばれた。



**海外招聘校によるアピールタイム**  
海外招聘校による発表と質疑応答は全て英語で行われた。母国語が英語ではない国・地域の高校生が、発表や質疑応答を難なくこなす姿に英語力の高さを思い知らされた。



8月9日【開催二日目】

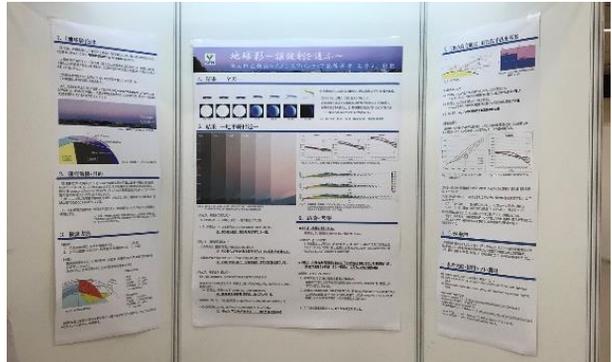
# 全体発表校による口頭発表

ポスター発表の審査をもとに6部門から選出された代表がPowerPointを用いた口頭発表に臨んだ。この中から、文部科学大臣賞1校、JST理事長賞2校が決まった。

## 【文部科学大臣賞】鹿児島県立国分高校 「幸屋火砕流が大隅諸島のエンマコガネ類に与えた影響」



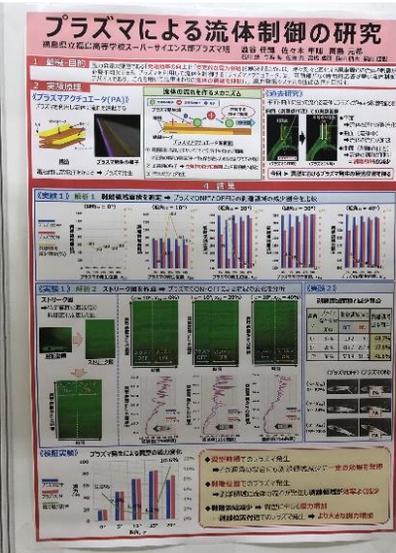
## 【審査委員長賞】横浜サイエンスフロンティア高校 「地球影～誰彼時を追ふ～」



## 【審査委員長賞】東京都立小石川高校 スライムを用いた偏光フィルムを作成



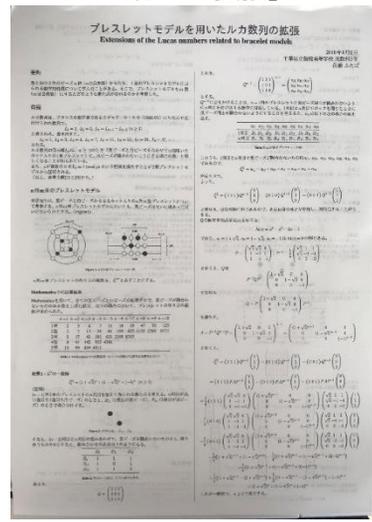
## 【JST理事長賞】福島県立福島高校 「プラズマによる流体制御の研究」



## 【JST理事長賞】名古屋市立向陽高校 ユリの花粉管誘導Ⅱ ～誘導を無視して伸びる花粉管の謎～



## 【審査委員長賞】千葉県立船橋高校 「プレスレットモデルを用いたルカ数列の拡張」



ポスター発表② 頭にレンコンの被り物をした山形県立東桜学館高校や体験型の発表など聞き手がわかりやすい工夫をしていた。

### 編集後記

特許を出願している研究や風力発電に応用される予定の研究など、同じ高校生とは思えない研究ばかりに心底たまげた。一高の先輩方は連日夜遅くまで議論し修正を重ねるなど直前まで研究し続ける姿勢に感動を覚えた。語彙力吸い取られるくらい凄い大会だった。私達72回生からどのゼミが行くのか？研究の精度をさらにあげていこう。最後になったが、全国という舞台上で発表された先輩方に拍手を！（杉山・高橋）

